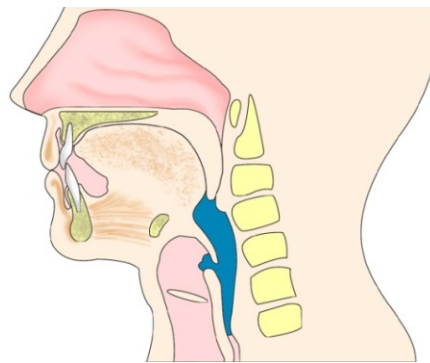


# 災害時に起こりやすい誤嚥性肺炎

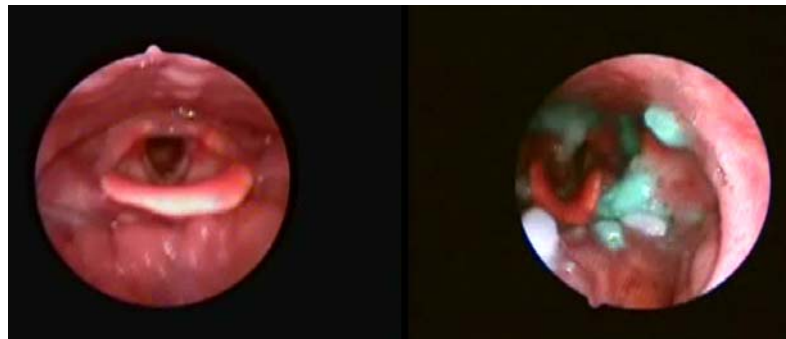
## —虚弱高齢者や要介護者の方へ—

災害時には、入れ歯を紛失する方が多くバランスのとれていない食事などで復旧まで虚弱状態の方の ADL が低下します。もともと、虚弱高齢者や要介護者は飲み込む力や飲み込む時の気管のフタの反射が低下しており、誤って唾液や食物が気管に入ってしまうことがあります。さらに、災害時によるダメージや低栄養から肺炎の発症率（阪神・淡路震災後 2 か月以内の関連死 922 名のうち肺炎が 24%）が高まります。



健常者

飲み込み障害者



義歯がないと食物を粉碎できず、塊のまま飲み込むしかできません。そのため、**バラバラの食物がノドに送り込まれることで、気管に誤って入りやすくなります。**

是非、歯科支援隊からの義歯調整の実施や、「被災地で義歯を紛失した虚弱高齢者や摂食嚥下障害の方への食事への一工夫（被災地で食事や健康を担当している看護・介護・一般市民向け）」をご覧ください。

**(社) 全国在宅歯科診療・口腔ケア連絡会**